

— 天才蘭学者・ 志筑忠雄の生涯と仕事 —

江戸時代後期の日本において、オランダ語書籍が訳される過程で「鎖国」「植民」「引力」「重力」「弾力」「遠心力」「求心力」「真空」「分子」などの日本語が誕生しました。これを果たしたのは、一時オランダ通詞をつとめ、退役後実家に戻ってケンベル『日本誌』やニュートン物理学書の和訳にいらした志筑忠雄(1760-1806)という長崎の蘭学者でした。講演では、『人物叢書 志筑忠雄』で明らかにした、忠雄の生涯とその学問上の達成について語ります。



講演者

熊本県立大学 文学部 教授

大島 明秀

『人物叢書 志筑忠雄』出版記念講演会

参加費無料

令和7年(2025年)

日時

6月21日 土

13:00~14:30
(12:30開場)

会場

熊本県立大学小ホール

対象者

高校生以上

定員

120名

申込方法

こちらからお申し込みください。



申込締切

令和7年(2025年)

6月13日(金)

但し、定員(120名)になり次第受付を終了

●問合せ先

熊本県立大学 地域・研究連携センター

E-mail : puk-renkei@pu-kumamoto.ac.jp TEL:096-321-6612 (平日 9:00 ~ 16:00)

学内施設図

会場 ——— ⑨小ホール

駐車場 ——— P2 の枠内に駐車してください。

※駐車場に限りがあるため、ご来場はできるだけ
公共交通機関をご利用ください。

熊本県立大学 学内案内図

